



次期柏市生涯学習推進計画の基本方針等について

生涯学習部 生涯学習課

目指す生涯学習像

笑顔と元気が輪となり広がるまち柏
～学びを通じた地域活性化～

目指す方向性

1. 子どもたちが健やかに成長するように
2. コミュニティの中に人と人のつながりが増えるように
3. すべての人が学べる環境に包まれるように

第4次柏市生涯学習推進計画の総括に向けて

取組方針

実現へのアプローチ

課題

方向性（案）

「はじめるきっかけ」を支援

○あらゆる世代が参加できる様々な学びの充実
○障害の有無、言語や時間、経済的制約に関わらず、共に学ぶ環境の充実

○若者や子育て世帯に対する学びのきっかけ創出
○障害や言語等、学ぶことに制約のある人に向けた学習環境の充実（ハード・ソフトともに）

○「楽しさ」「手軽さ」「自己研鑽」を入口にした学びの仕掛け
○学びの支援者育成を含めた、学習環境の整備

「もっと知りたい、つながりたい」を支援

○団体同士、学ぶ人同士の交流
○大学や民間事業者との連携
○より深い学びへの発展

○学びの個人化（コロナ後、仲間とのつながりをどのように形成するか）
○大学・民間の学びに関する情報提供

○イベント等をきっかけとした参加者や学びのつながり
○学びに関する大学や民間との広報連携

「ひろく伝えたい」を支援

○人材の育成
○コミュニティの育成
○行政機関の連携

○学びだけでなく、地域活動に関心のある人材の掘り起こし
○行政機関以外の学びが見えない

○学びをきっかけとした地域団体との連携と地域活動につながる仕掛け
○社会教育士などのコーディネーター人材の活用
○生涯学習実施機関（行政に加え、民間・大学を含む）のネットワーク化の推進

「情報提供による学び」を支援

○様々な主体が情報発信しやすい体制の整備
○多様な学び方ができる学習環境の提供

○市所管の活動団体が情報発信するツールの整理
○ICTツールの利用も含めた学びの支援

○目指す生涯学習像－目指す方向性－取組方針－実現へのアプローチ－具体的事業というつながりが見えにくい
○「ひろく伝えたい」を支援について、伝えるだけではなく、学びを活かす・還元することをわかりやすく表現したい
○市民にとっては、学びを実施する主体より内容が大事。「つなげる」や「情報提供」の支援に重点を置くのも一案
○掲載事業（市の具体的事業）について、もう少し絞って、大学や民間の取組みを紹介するのはどうか

※裏面計画体系図を参照

目指す生涯学習像

笑顔と元気が輪となり広がるまち柏
～学びを通じた地域活性化～

目指す方向性

1. 子どもたちが健やかに成長するように
2. コミュニティの中に人と人のつながりが増えるように
3. すべての人が学べる環境に包まれるように

第4次柏市生涯学習推進計画の総括に向けて (前回会議での意見を追記)

取組方針

「はじめるきっかけ」を支援

実現へのアプローチ

- あらゆる世代が参加できる様々な学びの充実
- 障害の有無、言語や時間、経済的制約に関わらず、共に学ぶ環境の充実

課題

- 若者や子育て世帯に対する学びのきっかけ創出
- 障害や言語等、学ぶことに制約のある人に向けた学習環境の充実（ハード・ソフトともに）

方向性（案）

- 「楽しさ」「手軽さ」「自己研鑽」を入口にした学びの仕掛け
- 学びの支援者育成を含めた、学習環境の整備

○「楽しい」「面白い」が学びのきっかけ ○出会い、学び合い、成長することが学び

○学習ニーズを持っているが、（障がい者のかたなど）一歩踏み出せない人の導きが必要

「もっと知りたい、つながりたい」を支援

- 団体同士、学ぶ人同士の交流
- 大学や民間事業者との連携
- より深い学びへの発展

- 学びの個人化（コロナ後、仲間とのつながりをどのように形成するか）
- 大学・民間の学びに関する情報提供

- イベント等をきっかけとした参加者や学びのつながり
- 学びに関する大学や民間との広報連携
- 生涯学習実施機関（行政に加え、民間・大学を含む）のネットワーク化の推進

○情報発信等における大学や民間との役割分担 ※とんがった講座内容や情報発信は大学や民間に任せる

「ひろく伝えたい」を支援

- 人材の育成
- コミュニティの育成
- 行政機関の連携

- 学びだけでなく、地域活動に関心のある人材の掘り起こし
- 行政機関以外の学びが見えない

- 学びをきっかけとした地域団体との連携と地域活動につながる仕掛け
- 社会教育士などのコーディネーター人材の活用

○ニーズがあれば市民が主体となり、自然と情報が拡散する。※学習ニーズの把握が重要

「情報提供による学び」を支援

- 様々な主体が情報発信しやすい体制の整備
- 多様な学び方ができる学習環境の提供

- 市所管の活動団体が情報発信するツールの整理
- ICTツールの利用も含めた学びの支援

○情報洪水でさまざまな情報が飛び交っていて、必要な情報が流されてしまう

○こども目線での情報発信が必要 ※大人（保護者等）で情報が止まらないような工夫を

- 目指す生涯学習像－目指す方向性－取組方針－実現へのアプローチ－具体的事業というつながりが見えにくい
- 「ひろく伝えたい」を支援について、伝えるだけではなく、学びを活かす・還元することをわかりやすく表現したい
- 市民にとっては、学びを実施する主体より内容が大事。「つなげる」や「情報提供」の支援に重点を置くのも一案
- 掲載事業（市の具体的事業）について、もう少し絞って、大学や民間の取組みを紹介するのはどうか

※裏面計画体系図を参照

次期生涯学習推進計画の基本方針（案）について



〈目指す生涯学習像〉 変更なし

笑顔と元気が輪となり広がるまち柏 ～学びを通じた地域活性化～

〈目指す方向性〉 変更なし

1. 子どもたちが健やかに成長するように
2. コミュニティの中に人と人のつながりが増えるように
3. すべての人が学べる環境に包まれるように

〈取組方針〉 変更なし、ただし文言を一部追加

1. 「はじめるきっかけ」を支援
2. 「もっと知りたい、つながりたい」を支援
3. 「ひろく伝えたい、**学びを活かしたい**」を支援
4. 「情報提供による学び」を支援



第4次柏市生涯学習推進計画の基本方針（取組方針）の大幅な変更は行わず、改訂版として策定したい。

取組方針 1 「はじめるきっかけ」を支援



〈実現へのアプローチ〉

- ・あらゆる世代が参加できる様々な学びの充実
- ・障害の有無、言語や時間、経済的制約に関わらず、共に学ぶ環境の充実

〈実現に向けて必要な視点と方向性〉

必要な視点	方向性（案）	イメージ
「楽しい」「面白い」「成長したい」が学びのきっかけに	「楽しさ・面白さ」「手軽さ」「自己研鑽」を入口にした学びの仕掛け	 夏休み子ども教室 ～楽しく学ぼう柏の 水道水～ 【生涯学習課】
情報を目にしても、一歩が踏み出せない人（障がい者、引きこもりの方等）に対して、参加を後押しする人、一緒に歩く人の存在が必要	学びの支援者育成を含めた、学習環境の整備	 あ・えーるテラス ～障がい者の社会 参加～ 【ラコルタ柏内】

取組方針 2 「もっと知りたい、つながりたい」を支援



〈実現へのアプローチ〉

- ・団体同士、学ぶ人同士の交流、大学や民間事業者との連携
- ・より深い学び・**学び直し**への発展

〈実現に向けて必要な視点と方向性〉

必要な視点	方向性（案）	イメージ
情報発信や講座開催における大学や民間との役割分担	・イベント等をきっかけとした参加者や学びのつながり ・学びに関する大学や民間との広報連携	 麗澤オープンカレッジ～ライフスタイルを再発見～ 【麗澤大学】 麗澤オープンカレッジHPから引用
	・生涯学習実施機関（行政に加え、民間・大学を含む）のネットワーク化の推進	 リカレント教育エコシステム構築支援事業 【文部科学省】

取組方針 3 「ひろく伝えたい、学びを活かしたい」を支援



〈実現へのアプローチ〉

- ・人材の育成、コミュニティの育成
- ・行政機関の連携

〈実現に向けて必要な視点と方向性〉

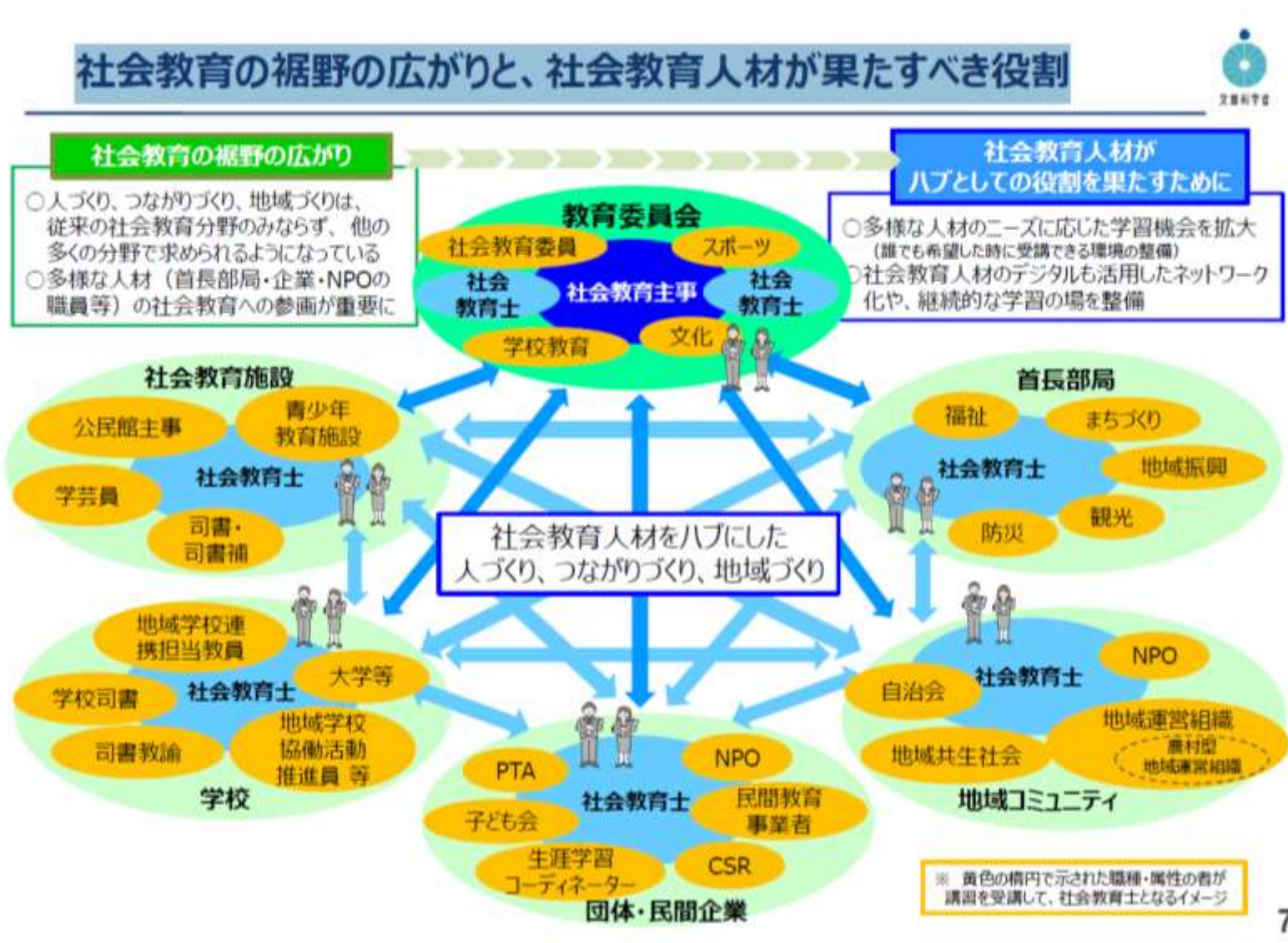
必要な視点	方向性（案）	イメージ
学びのニーズを行政がキャッチできれば、市民が主体となって自然と広がってゆく ※学習ニーズの把握が重要	学びをきっかけとした地域団体・市民活動団体との連携と、地域活動につながる仕掛け	 【かしま市民大学】 ※休止中 【市民活動支援課】 柏観光プロダクションFBより引用
	社会教育士などのコーディネーター人材の活用	 社会教育の裾野の広がり、社会教育人材が果たすべき役割 【文部科学省】

取組方針 4 「情報提供による学び」を支援



〈実現に向けて必要な視点と方向性〉

必要な視点	方向性（案）	イメージ
情報洪水でさまざまな情報が飛び交っていて、必要な情報が流されてしまわないような発信	・市所管の活動団体が情報発信するツールの整理 ・民間情報を含めた、生涯学習情報の一元化	↑生涯学習情報サイトらんらんかしわ ←生涯学習ガイド
こども目線での情報発信が必要 ※大人（保護者等）で情報が止まらないような工夫を	I C Tツールの利用も含めた学びの支援	オンライン講座の開催 GIGA端末の活用





リカレント教育エコシステム構築支援事業

令和7年度要求・要望額（新規） 2,570百万円



背景・課題

- 労働人口の減少は不可避である中、労働生産性の向上は国家的課題であり、リカレント教育に取り組むことが不可欠
※仕事関連の成人学習参加率が高い国ほど、労働生産性が高い傾向にあるが、我が国では企業のOJT以外の人材投資は諸外国と比べて低い。さらに社外学習・自己啓発を行っていない個人の割合が諸外国よりも高い。
- VUCAの時代にあって真に必要とされるスキルは、資格や検定ではなく「分野横断的知識・能力」「理論と実践の融合」「分析的思考」等※であり、リカレント教育を大学等の責務として行う必要
※経団連産学協働会2022年報告／世界経済フォーラム「仕事の未来2020」
※これらの能力は職業上も活用可能性が高く、大学等での育成が期待される高度なリスキリングであり、リカレント教育の一部と捉える。
- 地域が少子高齢化社会を乗り越え持続的に発展するためには、地域の人材ニーズを踏まえた人材育成と併せて、経営者等へのリスキリングを実施するなど、産学官連携による地域のリカレント教育プラットフォームの構築し、地方創生人材の輩出を強化

経済財政運営と改革の基本方針（骨太の方針）2024（令和6年6月21日閣議決定）

- 1（2）三位一体の労働市場改革
地域の産学官のプラットフォームを活用したリスキリングの対象に経営者を追加し、2029年までに、約5,000人の経営者等の能力構築に取り組む。大学と業界が連携して、最先端の知識や戦略的思考を身に付けるリスキリングプログラムを創設し、2025年度中に、約3,000人が参加することを目指す。
- 3（4）科学技術の振興・イノベーションの促進
イノベーション創出に向けた地域や産業界の学び直しニーズを踏まえつつ、産業界・個人・教育機関によるリカレント教育エコシステムの創出に向けた取組を加速する。

新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画2024改訂版（令和6年6月21日閣議決定）

- Ⅲ．三位一体の労働市場改革の早期実行
（3）③リスキリングのプラットフォームの構築
企業成長や労働移動につながる教育プログラムを産学協働体制で開発するとともに、産学官連携で地域のリスキリングのプラットフォームを構築する。

事業内容

・日本社会、地域社会の持続的発展に向けて、大学等が地域や産業界と連携・協働して、経営者を含む地域や産業界の人材育成ニーズを踏まえたリカレント教育プログラムを開発し、リカレント教育による産学官連携プラットフォームや、産学連携の協働体制の構築を促進し、産業界・個人・大学等によるリカレント教育エコシステムの構築を推進

● 支援メニュー（補助金）

- ①産学官連携を通じたリカレント教育プラットフォーム構築支援
(5.2千万 × 25か所)【5年間】
- ②リカレント教育による新時代の産学協働体制構築支援事業
(5.2千万 × 18か所)【5年間】

● 支援対象

・産学官等のプラットフォームや協働体制を構築し、リカレント教育を実施するために組織再編等を実施する大学等

● 支援内容

・プラットフォーム等構築経費、コーディネーター等の人件費、外部講師等への謝金等

【事業スキーム】

